
2025年12月11日

各位

株式会社リボミック
(コード番号:4591 東証グロース)

RBM-011(抗Interleukin-21アプタマー)に関する物質特許の 日本における特許査定のお知らせ

当社は、この度、日本特許庁に出願しておりました抗Interleukin-21(以下「IL-21」といいます。)アプタマーに関する物質特許について、特許査定を受けましたのでお知らせいたします。

本特許は、IL-21の作用を阻害する開発アプタマー(RBM-011)に関する物質及びその使用に関する技術で、日本、米国、欧州、中国を含む複数国に出願しております。

RBM-011は、肺動脈性肺高血圧症(PAH)の原因であるIL-21を阻害するアプタマーで、PAHモデル動物を用いた薬理試験において、肺動脈壁の肥厚を顕著に抑制することが明らかになっております。

また、IL-21は、自己抗体の產生と炎症の増強に関与することが予想されており、RBM-011は、自己免疫疾患モデル動物を用いた薬理試験において腎臓で観察される死細胞の抑制を含む複数の病態指標を改善する効果も確認されております。

<肺動脈性肺高血圧症>

肺動脈性肺高血圧症(PAH)は肺動脈に狭窄や閉塞が生じることで肺動脈圧が上昇し右心不全に至る指定難病で、世界における患者数は76,600人と推定されています。既存薬は肺動脈平滑筋の弛緩を主作用とするもののみであり、肺動脈の肥厚の抑制を主作用とする治療薬の開発が望まれております。

<Interleukin-21>

IL-21はT細胞やB細胞を活性化するサイトカインです。自己免疫疾患では炎症や自己抗体產生を促進し病態進展に寄与することが知られています。PAHでも病態悪化に関わる血管リモデリングを進行させることが知られており、IL-21は炎症反応に関わる重要な創薬標的として期待されております。

以上

【本件に関するお問い合わせ先:財務経理部 <https://www.ribomic.com/contact.php>】